モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行 2016 年　12 月 28 日
通算 166 号
三重県上野森林公園モリメイト
本気で遊ぼう！モリメイト

12 月 1 日（木曜日） ビートルズベッドの補修と落ち葉掻き

【参加者：池本、梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、山本、　計 7 名】

朝には雨も上がり、暖かな日差しがふりそそぐ穏やかな 1 日となった。

遊歩道には多くの落ち葉がつもり、足を滑らすなど歩きにくくなっている。今年も落ち葉掻きの時期がやってきた。

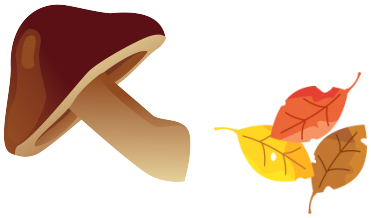
午前中に落ち葉を入れるところ（カブトムシのすみかでもあるビートルズベッド）の補修を行った。腐った材を取り除いて新しいのに入れ替え、番線で固定する。5 メートル四方、高さ 60 センチメートルのしっかりしたビートルズベッドに変身した。午後からは、ミノとほうきで遊歩道に積もる落葉を掻き集めて袋に詰め込んだ。軽トラックで運ぶこと 5 回。木枠の三分の二ぐらいたまる。あと 1～2 回で満杯になりそうである。葉がひらひらと舞い落ちる中での作業を楽しんだ。

12 月 8 日（木曜日） 落ち葉掻きとシイタケのホダ場の整理

【参加者：池本、梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、山本、鈴木明　　計 8 名】

先週に引き続き落葉掻きを行った。ビジターコテージからサギ草園に向かう遊歩道と風の砦から 5 番東屋に続く遊歩道にかなりの落ち葉が積もっているので、そこの落ち葉掻きをすることにした。軽トラックで 6 袋を 3 回。ビートルズベッドがほぼ満杯となった。

午後はシイタケランドでの作業である。2 年前の「シイタケの菌打ち体験」に参加した人たちのホダ木からたくさんのシイタケが上がっていた。シイタケランドは古くなった小屋を撤去したことにより、広々としてすっきりとした気持ちのいい場所になった。また、たくさんのホダ木を置くスペースもできたので、新しくホダ木立てを作ることにした。杭を打ち、5 メートル位の丸太を渡し番線でしっかり止めた。2 月の始めに行われる「シイタケの菌打ち体験」の参加者も年々増えているので、これで余裕をもってホダ木を置いてもらうことができると思う。



12 月 15 日（木曜日）　森林公園にもナラ枯れ広がる

【参加者：池本、梶川、芝田香、鈴木哲、中、山本、吉田、鈴木明　　計 8 名】

コナラやクヌギなどのナラ、カシ、シイ類の樹木が集団で枯死するナラ枯れとみられる木々の変色が伊賀地域の里山で目立っている。そして森林公園でもナラ枯れが目立ち始めた。

ナラ枯れは、『甲虫のカシノナガキクイムシ（カシナガ）がカビの仲間の通称「ナラ菌」を運ぶことで引き起こされる伝染病である。枯れ木の中でふ化したカシナガの成虫が初夏に周辺の木々へ飛散し、幹に穴を掘って入り、このためにナラ菌が伝染増殖される。菌に感染した幹は細胞が死滅し、水を吸い上げられなくて、樹木全体が立ち枯れる。』というものである。

モリメイトは、このナラ枯れを最小限に抑えるための一つとして、「ナラ枯れ」した木を除伐し、菌の入った幹の部分は細かく切って薪用にし、まだ菌の入っていない枝の部分はシイタケのホダ木として利用している。

今日は、「ハンノキ園」の奥で 2 本、「風の砦」に向かう遊歩道沿いで 1 本、「21 世紀の森」で 2 本、枯れたコナラを除伐した。今回は大木が多く、チェーンソーの切れが悪くなったり、挟まって動かなくなったりとチェーンソーにとっては少し過酷ではあったが、作業はスムーズに進み、無事終えることができた。